

# ミュンヘン市の取り組みに学ぶ ～環境・エネルギー政策

昨年姉妹都市50周年を迎えた札幌市とドイツ・ミュンヘン市。1/17にオンラインで両市の環境・エネルギー対策の先進的な取り組みについて意見交換が行われました。

詳細 交流課 ☎211-2032



▲姉妹都市50周年を記念し、市庁舎に札幌市の市旗が掲揚された

## ミュンヘン市 ライター市長

2035年までに市全体で、温室効果ガスの排出量と吸収量を均衡させるカーボンニュートラルを達成することを決めました。非常に大きな目標ですが、小さな取り組みを積み重ねて達成を目指します。このように自治体レベルで環境政策を話し合うことは重要ですね。



## シュタットベルケ・ミュンヘン

### アムロングCEO室長

ミュンヘン市が100%出資しているインフラサービス企業であるシュタットベルケは、市の電力・ガス・熱供給のほか、交通、水道、通信などの事業を担っています。ミュンヘン市内とその近郊で、太陽光や水力、地熱など、さまざまな再生可能エネルギーの発電を組み合わせて、さらには、ヨーロッパ各地の施設でも発電を行うことで、再生可能エネルギー率90%を達成しています。



### 具体的な取り組み

- 🌿 建物の熱需要を低くする
- 🌿 天然ガスなどのエネルギーを再生可能エネルギーに転換する
- 🌿 交通システムを転換する

## 札幌市 秋元市長

札幌市は、2050年までに市域から排出される温室効果ガスを実質ゼロにする「ゼロカーボンシティ」を目指すことを宣言しました。昨年11月には、2030年までに脱炭素に先進的に取り組むモデル地域である「脱炭素先行地域」として国から指定されています。札幌市の電気やガスなどのインフラサービスはミュンヘン市のように公共が100%出資した企業ではありませんが、民間企業と連携して取り組みを進めていこうと考えています。

### 具体的な取り組み

- 🌿 都心部では、ビルの省エネルギー化や再生可能エネルギー利用のほか、水素ステーションの整備などにより、水素の利活用を進める
- 🌿 道内の再生可能エネルギー電力を有効活用する
- 🌿 省エネルギー性能が高い住宅の普及を促進する

## 司会進行・コーディネーター

### 市政アドバイザー 山中 燦子氏

元衆議院議員。外務大臣政務官、外務省平和構築特別大使および世界津波の日特別大使などを歴任。現在は、ケンブリッジ大学中央アジア研究所上席外交フェロー、国際津波防災学会代表などを務める。G7札幌 気候・エネルギー・環境大臣会合の誘致を市に助言



## ミュンヘン市に届けるキルトを募集しています

ミュンヘン市では姉妹都市から集めたキルトをつないで作品をつくり、ミュンヘン市旧市庁舎のホール前のロビーに飾ります。

- 応募条件次を満たすキルトを郵送か持参
- ・一辺30.5cm+縫いしろ1.5cmの正方形
  - ・ミュンヘン市か札幌市にちなんだデザイン
- ※技法は問わない

期限4/14(金)(必着)

提出先市役所(1ページ)交流課



イメージ